

報告日 令和 8年 6月15日 (月)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：(1) 保元の乱と平治の乱 (2) 崇徳天皇と後白河天皇の角逐 (3) 源頼政の昇殿と旗揚げ
開催日時 令和 8年6月11日 (木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第1会議室
参加人数 男性9名 女性3名 合計12名 (含む聴講者5名 欠席者1名)	
<p>本日の講義は、(1) 保元の乱と平治の乱、(2) 崇徳天皇と後白河天皇の角逐、(3) 源頼政の昇殿と旗揚げ、の3点であった。</p> <p>(1)について、保元の乱は皇位継承の争い、平治の乱は院政下の権力争いを中心で、どちらも武士が政治に登場するきっかけとなった争いである。</p> <p>(2) について、院政を敷いた白河法皇が鳥羽帝に譲位を迫り、鳥羽帝から「叔父子」と呼ばれ白河帝の子とされている崇徳帝を天皇にしたことから、鳥羽帝は一層の憎悪を増長させてしまった。更に、鳥羽帝が即位順位を逆にしてまでも若死したご自身の子息近衛天皇の後任に指名したのが、崇徳天皇の弟・後白河天皇だったことから、両者の間に長く苦しい確執と戦いが始まった。崇徳帝は戦いに敗北した後、讃岐（香川県）へと流され、この地で五部大乘経をしたためたが、後白河帝に突き返された。これが発端となって、日本三大怨霊の1つである「崇徳帝の怨霊」が始まったとされる。</p> <p>明治天皇も昭和天皇も崇徳帝の怨霊鎮魂のため、特使を坂出に派遣し謝罪している。</p> <p>明治天皇は崇徳帝を京都に迎えるため、明治時代に入り「白峰神宮」を建立神として祀っている。</p> <p>(3) 源頼政は平治の乱で没落した源氏の武士の中で唯一「従三位」に昇進した摂津源氏で、後に以仁王に働きかけて平氏追討の令旨を出させ、また、頼朝の伊豆配流地「蛭が小島」の伊豆国知行国主でもあった。源氏挙兵の際、宇治で戦死。</p>	
<p>次回予定 令和8年7月9日 (木) 10:00~12:00</p> <p>場 所：金沢公会堂第2会議室</p> <p>テーマ：(1) 源頼朝の鎌倉幕府 (2) 平家の滅亡 (3) 富士の巻狩り (4) 吾妻鏡のミステリー (頼朝の急死)</p>	